

熊野古道世界遺産登録15周年



キックオフイベント

日時 **令和元年 7月7日 (日)**
13時30分～16時30分

場所 **熊野古道センター**

参加 **無料** 事前申込 **不要**



三重県知事 鈴木英敬

馬越峠

■キックオフイベント

熊野古道は、その歴史や文化的景観が評価され、平成16年7月7日に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。今年で世界遺産登録15周年を迎えます。世界遺産に登録された日を記念し、7月7日(日)に熊野古道世界遺産登録15周年キックオフイベントを行います。

■プログラム

13:30～14:00

オープニング

玉丸城太鼓保存会(玉城町)の皆さんによる太鼓演奏「祈りの道(※)」と大台町立日進保育園の子どもたちによる「とこわかダンス」がキックオフイベントのオープニングを飾ります。

※熊野古道伊勢路をイメージした曲。



太鼓演奏



とこわかダンス

14:00～14:30

感謝状贈呈

寄附や保全活動で貢献いただいている団体へ感謝状を贈呈します。

14:30～14:40

「熊野古道伊勢路の魅力案内人」の委嘱式
伊勢路に関わりが深く、発信力のある県外の方を案内人に委嘱します。

15:00～16:30

パネルディスカッション

■イベント

会場内をスタンプラリー!
イベントを3つ巡って
記念品をGETしよう。

●熊野古道写真展

発掘当時の写真を展示し、熊野古道の歴史をたどります。

●15周年の木

熊野古道への願いなどみなさんの想いを込めた“葉っぱ”や“果実”をボードに貼り付け15周年の木を实らせませす。

●巨大すごろく

長さ約40mの巨大すごろくが登場!すごろくで熊野古道伊勢路を巡礼しよう。



巨大すごろく

●熊野古道クイズ

熊野古道伊勢路にまつわるクイズに参加して景品をゲットしよう。

●プラネタリウム

(協力:三重県立みえこどもの城、尾鷲市立天文科学館)

みえこどもの城からプラネタリウムが出張!
熊野古道の夜空を体験しよう!



プラネタリウムイメージ画像

●出張図書館(協力:三重県立図書館、尾鷲市立図書館)

図書館が熊野古道センターに出張します!
熊野古道にまつわる書籍、絵本などが大集合!

●スイーツ・お菓子販売(12時30分～15時30分)

東紀州のご当地スイーツ・お菓子が集結します。



●「幸せの古道旗」(主催:尾鷲市、尾鷲市教育委員会)

尾鷲市内の小学校5・6年生が熊野古道をテーマに描いた絵画を運動会の万国旗のように展示します。



スイーツ・お菓子販売

※手話通訳等が必要な場合は、事前に問い合わせ先までご連絡ください。

主催:三重県 共催:熊野古道世界遺産登録15周年事業実行委員会

協賛:三重県民共済生活協同組合、竹輝銅庵、尾鷲物産株式会社

熊野古道世界遺産登録15周年 キックオフイベント

パネルディスカッション

テーマ

きいて!わたしの熊野古道。

知事をコーディネーターにパネラーの皆さんからそれぞれが考える熊野古道の魅力や未来に向けた可能性を語っていただきます。

◆コーディネーター

鈴木英敬 三重県知事

平成23年4月三重県知事に就任。平成27年4月及び平成31年4月に再選、現在三期目。平成25年に熊野古道伊勢路「馬越峠」を、当時皇太子でいらっしゃった天皇陛下とともに散策した。

龍麗音さん 尾鷲高校生

尾鷲高校3年生。現在、生徒会長として活躍中。昨年、紀北地域の若手県職員グループ「紀北はまち座」と、龍君を一員とする尾鷲高校生の有志がコラボし、外国人に地域の魅力を案内するツアー「いざ!紀の国へ」を企画。ツアーに参加した外国人たちに熊野古道の魅力を伝えた。「尾鷲高校まちいく」にも参加するなど、紀北地域の地域活性化活動にも積極的に取り組んだ。

四方明子さん 外務省地方連携推進室長

外務省地方連携推進室長として、地方自治体等の国際交流の取組を応援。外務省ではスペイン語が専門。最近では広報文化外交のポストを歴任。サンティアゴ・デ・コンポステーラには学生時代以来2度訪問。次は自分の足で、と、2016年にフランスから巡礼開始、翌年ピレネー越え。毎夏少しずつスペイン巡礼路を踏破中。昨年10月は、熊野古道伊勢路も訪問。

フォルミサーノ・バレンティーナさん
熊野市国際交流員 (Formisano Valentina)

イタリア共和国ナポリ県マッサ・ルブレッセ出身。(熊野市が姉妹都市提携するソレント市の隣)2018年7月から熊野市の国際交流員として着任。熊野市では、ソレント市との国際交流業務、英語の翻訳、通訳などを行うほか、外国人目線を活かし、バス車内の多言語化などをアドバイスし、インバウンド受入環境の整備も推進している。

◆パネラー

大川善士さん

熊野古道伊勢路保存会 ルーパーの会代表

熊野古道が世界遺産に登録される前の平成5年から、荒れ放題だった古道の草刈りや発掘作業に尽力。地元仲間たちと一緒に保全団体「ルーパーの会」を結成し、代表を務めている。曾根次郎坂・太郎坂、三木峠、羽後峠で活動。

山本まりこさん 写真家

雑誌・広告撮影、旅エッセイ執筆、講演、フォトセミナー講師など活動は多岐。写真集「熊野古道を歩いています。」(日本カメラ社)、著書「エアーフォトの撮り方レシピ」(玄光社)他多数。

2011年から熊野に通い、2014年秋から熊野古道伊勢路を歩き始め、2016年5月に170kmの道のりを踏破。熊野古道に魅せられ、熊野古道へは年数回足を運んでいる。2016年に県が主催する熊野古道セミナーで講師を務め、昨年も熊野古道を撮る写真ツアーで講師を務めた。

●熊野古道伊勢路

熊野古道は、熊野三山へ詣るために多くの人々が訪れた道で、いくつかのルートがあります。その中で三重県を通る伊勢神宮から熊野三山を結ぶ道は「熊野古道伊勢路」と呼ばれ、参詣道として、また地域住民の生活の道として大切に守られてきました。

その歴史や文化的景観が評価され、平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。

●熊野古道伊勢路15周年 ロゴマーク

公募により平成20年11月に制定した熊野古道伊勢路のシンボルマークに「2019年世界遺産登録15周年」を冠しました。

期間中はこのロゴマークを使用して15周年をPRします。

シンボルマークは緑の濃淡で「伊勢」(淡い緑)と「熊野」(濃い緑)とそれらをつなぐ道が表現されています。



●熊野古道世界遺産登録15周年事業実行委員会

15周年事業を地域と一体となって取り組むため、平成30年12月に、県と熊野古道伊勢路沿線10市町(伊勢市、尾鷲市、熊野市、多気町、大台町、玉城町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町)により実行委員会を立ち上げました。

その後、本年4月には5市町(松阪市、鳥羽市、志摩市、度会町、南伊勢町)も加わり、15市町となったほか、観光団体、商工団体、農林水産業団体、語り部、保存会、民間企業等の合計150を超える団体に参加していただいています。

●熊野古道センター企画展示も実施中

- 尾鷲で47都道府県をたびしよう!
にっぽん全国のさがしもの原画展(特別展示室)
- 熊野古道伊勢路〜くまのみちを歩いた人々〜
(企画展示室)
- 写真で巡る「紀伊山地の霊場と参詣道」
(展示棟ロビー)

●夢古道おわせ

熊野古道伊勢路 世界遺産登録15周年ありがとう風呂

尾鷲ヒノキを使った入浴木に、感謝のメッセージを書き、海洋深層水のお風呂に入浴!熊野古道を守り、伝えてきた地域の方々へ感謝の気持ちを伝えよう!

場所 夢古道の湯
期間 7月7日~7月14日

アクセス 駐車場案内

キックオフイベント駐車場は3か所

- ①熊野古道センター駐車場.....約60台
 - ②熊野古道センター上臨時駐車場.....約40台
 - ③大曽根埋立地臨時駐車場.....約150台
- ※③大曽根埋立地臨時駐車場からは熊野古道センター行きのシャトルバス運行あり(随時)

